



THC 類製品・ケタミン密輸入事犯の摘発・押収量増加 ～令和 7 年の成田国際空港における関税法違反事件の取締り状況～

東京税関成田税関支署が令和 7 年に摘発した不正薬物(※1)は、合計 129 件(前年比約1.5 倍)/約 564 kg(※2)(同約 1%減)であった。

主な薬種別の摘発は、

覚醒剤 33 件(同 100%)/約 292kg(同約 35%減)

大麻 12 件(同約 14%減)/約 82kg(同約 2.1 倍)

THC 類製品 28 件(同約 4.7 倍)/約 59kg(同約 3.1 倍)

コカイン 23 件(同約 1.8 倍)/約 18kg(同約 16%減)

MDMA 等 8 件(同約 27%減)/約 53kg(同約 1.6 倍)

ケタミン 15 件(同 3 倍)/約 58kg(同約 8.4 倍)

であった。

金地金等の摘発件数は 67 件(同約 69%減)/約 119kg(同約 68%減)であった。

【主な特徴】

- ケタミン密輸入事犯の押収量の飛躍的増加
- THC 類製品密輸入事犯の顕著な摘発増加
- 大麻・MDMA 密輸入事犯の大口化

(※1)覚醒剤、大麻、THC 類製品、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。

資料「成田国際空港における密輸入事犯摘発状況一覧表」参照。

(※2)重量等未確定につき含まれないものがある。個々の押収量についても同様。

成田国際空港における密輸入事犯摘発状況一覧表

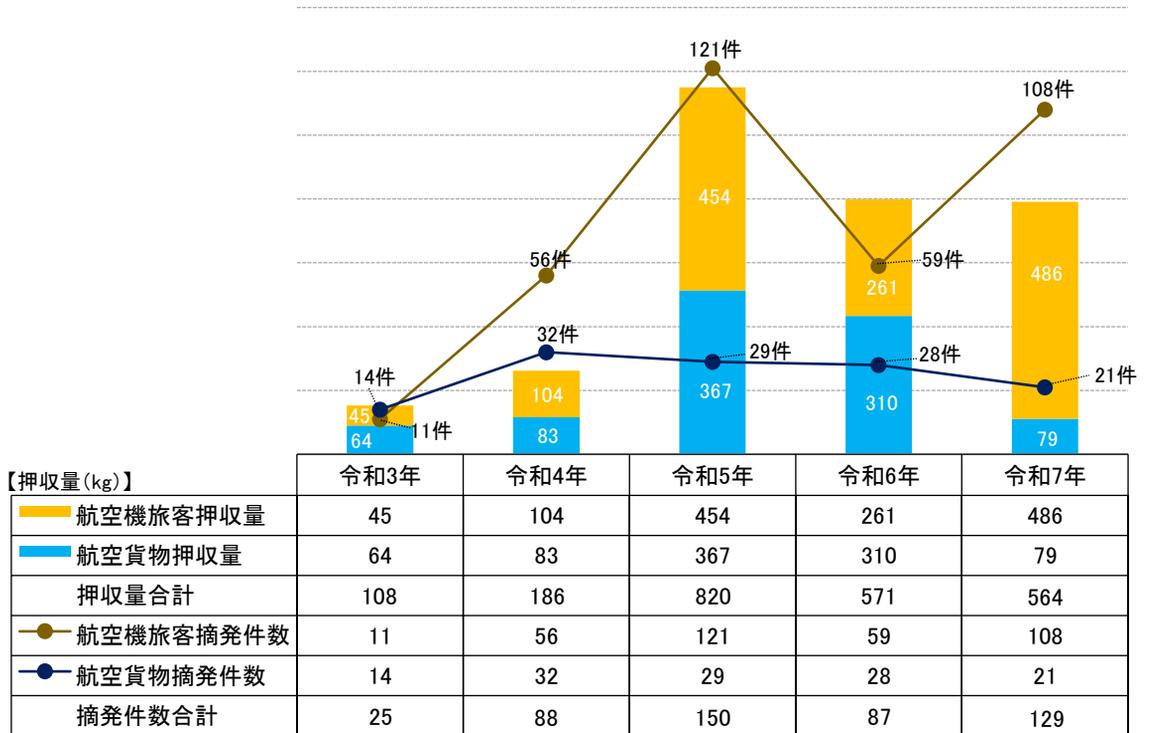
種類	年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
							前年比
覚醒剤	件	11	52	82	33	33	100%
	kg	84	161	649	450	292	65%
大麻	件	1	7	12	14	12	86%
	kg	0	1	77	40	82	208%
THC類製品 (大麻樹脂等)	件	5	7	9	6	28	467%
	kg	21	0	32	19	59	306%
ヘロイン	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
コカイン	件	3	8	34	13	23	177%
	kg	1	20	47	22	18	84%
MDMA等	件	1	4	6	11	8	73%
	kg	-	0	9	33	53	162%
	千錠	0	2	26	51	20	39%
ケタミン	件	2	3	5	5	15	300%
	kg	2	4	5	7	58	843%
その他麻薬	件	1	-	1	3	5	167%
	kg	0	-	0	0	0	28%
	千錠	-	-	-	-	-	-
向精神薬	件	-	-	1	1	2	200%
	kg	-	-	-	-	-	-
	千錠	-	-	0	0	0	240%
指定薬物	件	1	7	-	1	3	300%
	kg	0	1	-	0	1	全増
あへん	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
合計	件	25	88	150	87	129	148%
	kg	108	186	820	571	564	99%
	千錠	0	2	26	51	20	39%
銃砲	件	-	-	-	1	-	全減
	丁	-	-	-	1	-	全減
うち拳銃	件	-	-	-	1	-	全減
	丁	-	-	-	1	-	全減
拳銃部品	件	-	-	-	-	-	-
	点	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計を示す。
4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
5. 端数処理のため数値が合わないことがある。
6. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
7. 令和7年の数値は速報値である。
8. 大麻とは、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律における麻薬である大麻、及び同法改正前に大麻取締法で規制されていた大麻草を指す。
9. THC類製品とは、上記大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律で規制されているTHC類を含有する液体・菓子類を指す。また、大麻樹脂等とは、同法改正前に大麻取締法で規制されていた大麻樹脂、大麻リキッド、大麻菓子等の大麻製品を指す。

1 不正薬物摘発実績

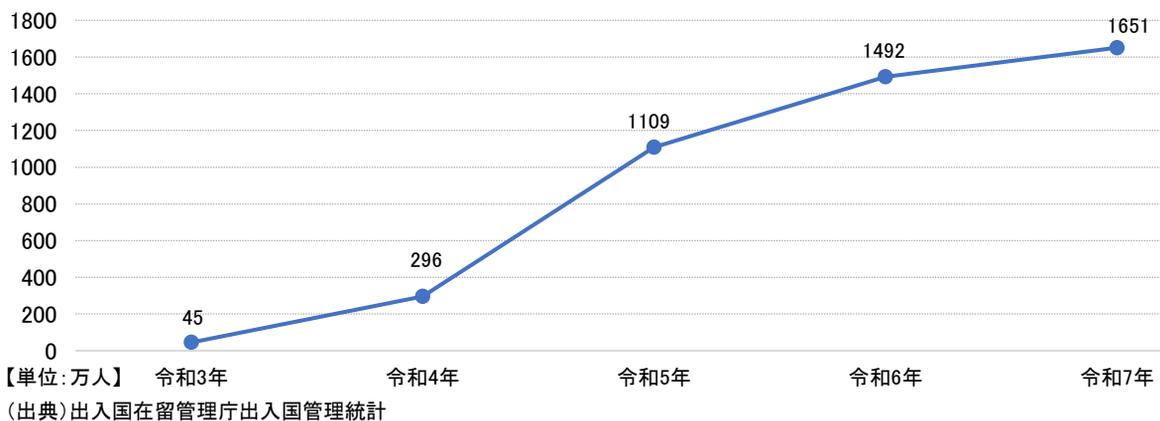
- 令和7年の不正薬物の摘発件数は129件(前年比約1.5倍)であり、押収量は約564kg(同約1%減)であった。
- 密輸形態別では、航空機旅客による密輸が108件(同1.8倍)/約486kg(同約1.9倍)、航空貨物による密輸が21件(同25%減)/約79kg(同約75%減)であった。
- 薬種別では、摘発件数・押収量ともに覚醒剤が最も高い割合を占めた。
【摘発件数:33件(約26%)/押収量:約292kg(約52%)】

●形態別摘発実績(令和3年から令和7年)



- 令和7年の数値は速報値である。
- 押収量については端数処理をしているため、合計値が合わないことがある。

●【参考】成田国際空港入国者数推移(令和3年から令和7年)



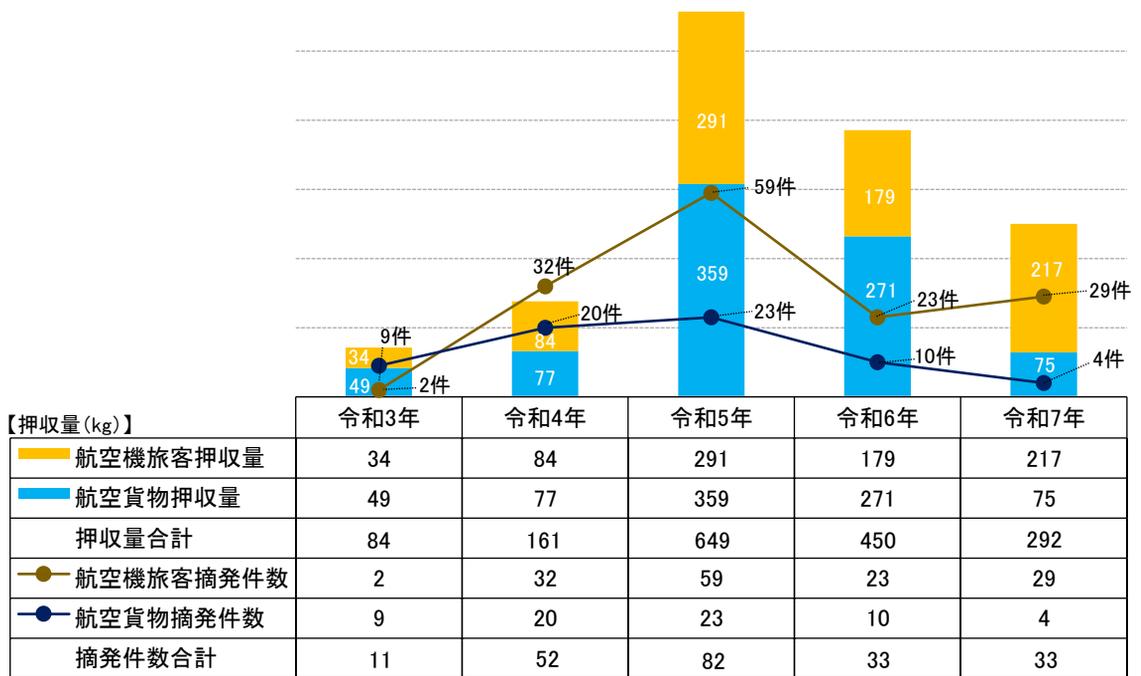
- 令和7年の数値は速報値である。

2 覚醒剤摘発実績



- 覚醒剤密輸入事犯について、摘発件数は33件(前年比100%)であり、押収量は約292kg(同約35%減)であった。
- 密輸形態別では、航空機旅客による密輸が29件(同約1.3倍)/約217kg(同約1.2倍)であり、航空貨物による密輸が4件(同60%減)/約75kg(同約72%減)であった。
- 仕出地域別では、摘発件数はアジア仕出の17件が全体の約半数を占め、押収量についてはアジア・北米の2地域を仕出しとする事案で全体の75%以上を占めた。

●形態別摘発実績(令和3年から令和7年)



●仕出国別摘発実績(令和7年)

地域	国	件数	割合(件数)	押収量(kg)	割合(押収量)
アジア(3か国・17件・約126kg)	マレーシア	10	30%	96	33%
	タイ	4	12%	18	6%
	カンボジア	3	9%	12	4%
北米(2か国・6件・約100kg)	アメリカ	3	9%	63	22%
	カナダ	3	9%	37	13%
中南米(1か国・8件・約54kg)	メキシコ	8	24%	54	18%
欧州(1か国・1件・約8kg)	スペイン	1	3%	8	3%
アフリカ(1か国・1件・約4kg)	南アフリカ	1	3%	4	1%
合計		33	100%	292	100%

- 本項において、令和7年の数値は速報値である。
- 押収量については端数処理をしているため、合計値が合わないことがある。

【覚醒剤密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例1【メキシコ来航空貨物】

ワインディングマシンに隠匿の覚醒剤約39キログラムを摘発(令和7年6月)



事例2【マレーシア来航空機旅客】

衣類に隠匿の覚醒剤約23キログラムを摘発(令和7年8月)



【覚醒剤密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例3【アメリカ来航空機旅客】

スーツケースに隠匿の覚醒剤約30キログラムを摘発(令和7年10月)



事例4【マレーシア来航空機旅客】

金属製壁掛け内に隠匿の覚醒剤約3キログラムを摘発(令和7年11月)



3 大麻・THC類製品摘発実績

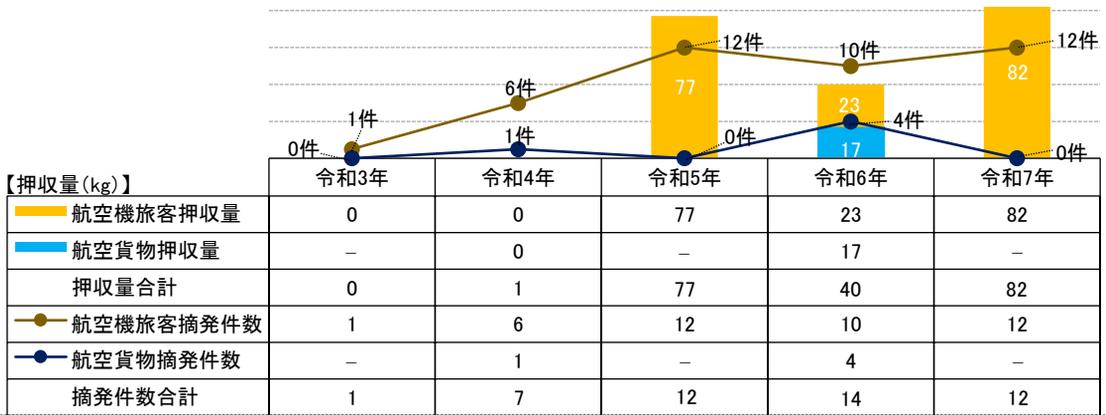
【大麻摘発実績】

- 大麻密輸入事犯について、摘発件数は12件（前年比約14%減）、押収量は約82kg（同約2.1倍）であった。
- 密輸形態別では、航空機旅客による密輸が12件（同1.2倍）/約82kg（同約3.6倍）であり、航空貨物による密輸が0件（同全減）であった。
- 仕出国別では、タイ仕出が9件/約39kgであり、摘発件数・押収量ともに最多であった。

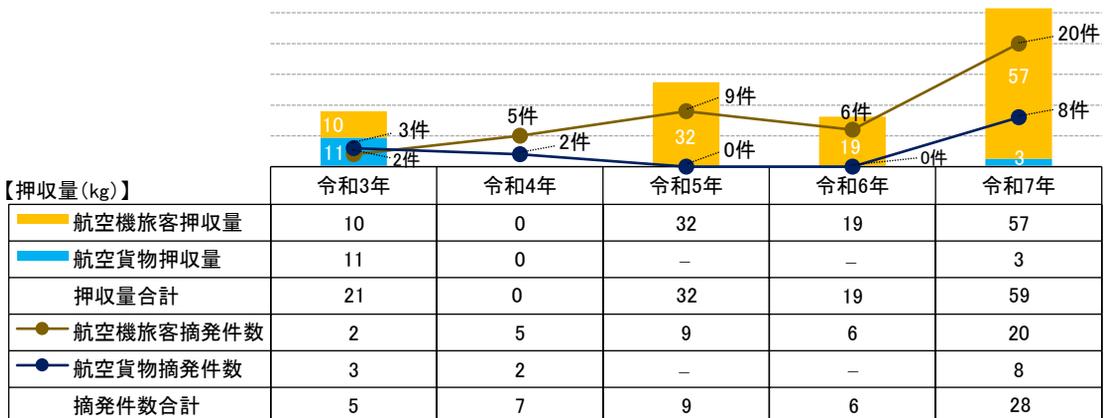
【THC類製品摘発実績】

- THC類製品密輸入事犯について、摘発件数は28件（同約4.7倍）、押収量は約59kg（同約3.1倍）であった。
- 密輸形態別では、航空機旅客による密輸が20件（同約3.3倍）/約57kg（同3倍）であり、航空貨物による密輸が8件（同全増）/約3kg（同全増）であった。
- 仕出国別では、摘発件数についてはアメリカ仕出：13件（押収量：約1kg）、押収量についてはタイ仕出：約57kg（摘発件数：10件）がそれぞれ最も高い割合であった。

● 形態別摘発実績【大麻】（令和3年から令和7年）



● 形態別摘発実績【THC類製品】（令和3年から令和7年）



- 本項において、令和7年の数値は速報値である。押収量については端数処理をしているため、合計値が合わないことがある。
- 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を指し、「-」とは全くない場合を指す。
- 大麻とは、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律における、麻薬である大麻及び同法改正前に大麻取締法で規制されていた大麻草を指す。
- THC類製品とは、上記大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律で規制されているTHC類を含有する液体・菓子類を指す。
- 令和3年から令和5年のTHC類製品の摘発件数・押収量については、上記法改正前に「大麻樹脂等」として統計計上していた、大麻取締法で規制されていた大麻樹脂・大麻キッド・大麻菓子等の大麻製品の摘発件数・押収量を指す。
- 令和6年のTHC類製品の摘発件数・押収量については、上記大麻樹脂等とTHC類製品が混在している。
内訳は、【大麻樹脂等：4件/約18kg】【THC類製品：2件/1kg】である。

【大麻・THC類製品密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例5【タイ来航空機旅客】

スーツケースに隠匿の大麻約18キログラムを摘発(令和7年3月)



事例6【ベトナム来航空機旅客】

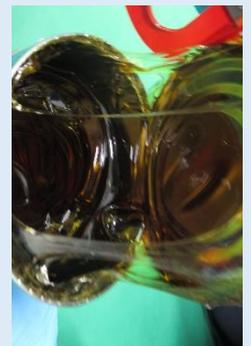
食品に隠匿の大麻約18キログラムを摘発(令和7年9月)



【大麻・THC類製品密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例7【タイ来航空機旅客2名】

缶詰に隠匿のTHC類製品合計約40キログラムを摘発(令和7年5月)



事例8【タイ来航空機旅客】

食品に隠匿のTHC類製品約6キログラムを摘発(令和7年9月)

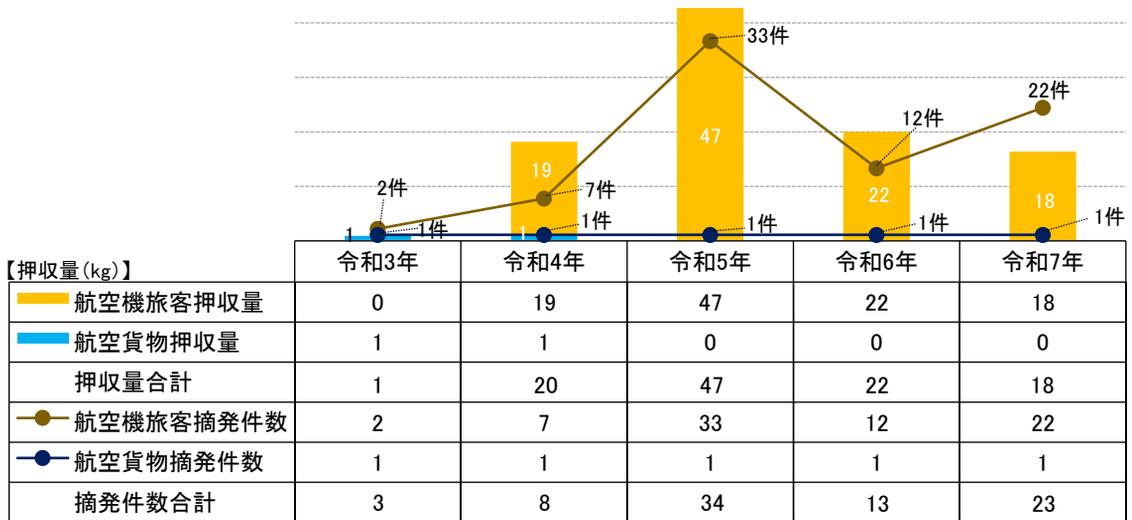


4 コカイン摘発実績



- ✦コカイン密輸入事犯について、摘発件数は23件(前年比約1.8倍)であり、押収量は約18kg(同約18%減)であった。
- ✦密輸形態別では、航空機旅客による密輸が22件(同約1.8倍)/約18kg(同約18%減)であり、航空貨物による密輸が1件(同100%)/約0.2kg(同約48.9倍)であった。
- ✦仕出地域別では、摘発件数・押収量とも中南米の13件/約11kgが最大の割合であった。

●形態別摘発実績(令和3年から令和7年)



●仕出国別摘発実績(令和7年)

地域	国	件数	割合(件数)	押収量(kg)	割合(押収量)
中南米(4か国・13件・約11kg)	ブラジル	9	39%	4	22%
	ドミニカ共和国	2	9%	4	22%
	ペルー	1	4%	2	11%
	メキシコ	1	4%	1	6%
欧州(4か国・4件・約3kg)	フランス	1	4%	2	11%
	ベルギー	1	4%	1	6%
	スペイン	1	4%	0	0%
	ドイツ	1	4%	0	0%
中東(2か国・2件・約4kg)	アラブ首長国連邦	1	4%	2	11%
	カタール	1	4%	2	11%
北米(2か国・3件・0kg)	アメリカ	2	9%	0	0%
	カナダ	1	4%	0	0%
アジア(1か国・1件・0kg)	タイ	1	4%	0	0%
合計		23	100%	18	100%

- 本項において、令和7年の数値は速報値である。
- 押収量については端数処理をしているため、合計値が合わないことがある。
- 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を指す。

【コカイン密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

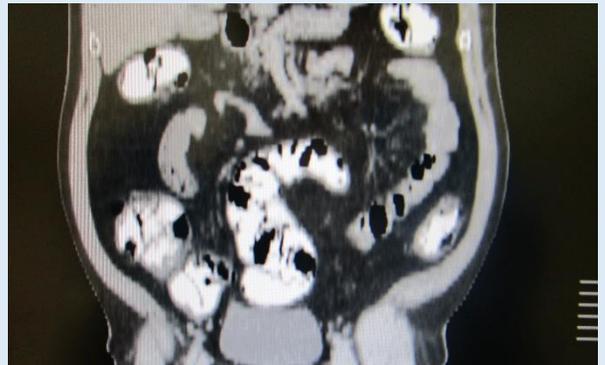
事例9【ペルー来航空機旅客】

スーツケースに隠匿のコカイン約2キログラムを摘発(令和7年6月)



事例10【ブラジル来航空機旅客】

嚥下隠匿のコカイン(液状物)53塊を摘発(令和7年12月)



5 MDMA・ケタミン・その他麻薬摘発実績



- ✦ MDMA密輸入事犯について、摘発件数は8件（前年比約27%減）、押収量は約53kg（同約1.6倍）であった。
- ✦ ケタミン密輸入事犯について、摘発件数は15件（同3倍）、押収量は約58kg（同約8.3倍）であり、摘発件数・押収量とも増加した。
- ✦ その他麻薬密輸入事犯について、摘発件数は5件（同約1.7倍）、押収量は約0.1kg（同約72%減）であった。

●形態別摘発実績【MDMA】（令和3年から令和7年）

	令和3年			令和4年			令和5年			令和6年			令和7年		
	件	kg	千錠												
航空機旅客	1	-	0	2	-	2	5	6	26	3	12	10	8	53	20
航空貨物	-	-	-	2	0	-	1	3	-	8	21	40	-	-	-
合計	1	-	0	4	0	2	6	9	26	11	33	51	8	53	20

●仕出国別摘発実績【MDMA】（令和7年）

地域	国	件数	割合（件数）	押収量（kg）	割合（押収量/kg）	押収量（千錠）	割合（押収量/千錠）
北米 (2か国・3件・約28kg)	カナダ	2	25%	28	53%	-	0%
	アメリカ	1	13%	0	0%	-	0%
欧州 (2か国・3件・約25kg)	オランダ	2	25%	20	38%	20	100%
	フランス	1	13%	5	9%	-	0%
アジア (1か国・2件・0kg)	タイ	2	25%	0	0%	0	0%
合計		8	100%	53	100%	20	100%

●仕出国別摘発実績【ケタミン】（令和7年）

地域	国・地域	件数	割合（件数）	押収量(kg)	割合(押収量)
欧州 (5か国・8件・約58kg)	ドイツ	3	20%	37	64%
	オランダ	2	13%	7	12%
	ベルギー	1	7%	14	24%
	フランス	1	7%	0	0%
	イギリス	1	7%	0	0%
アジア (2か国・6件・約1kg)	タイ	5	33%	1	2%
	台湾	1	7%	0	0%
北米 (1か国・1件・0kg)	カナダ	1	7%	0	0%
合計		15	100%	58	100%

- 本項において、令和7年の数値は速報値である。
- 押収量については端数処理をしているため、合計値が合わないことがある。
- 数量の表記について、「0」とは500g未満又は千錠未満の場合を指し、「-」とは全くない場合を指す。

【MDMA・ケタミン密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例11【カナダ来航空機旅客】

衣類に隠匿のMDMA約14キログラムを摘発(令和7年4月)



事例12【フランス来航空機旅客】

スーツケースに隠匿のMDMA約5キログラムを摘発(令和7年8月)



【MDMA・ケタミン密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例13【ベルギー来航空機旅客】

食品に隠匿のケタミン約14キログラムを摘発(令和7年7月)



事例14【ドイツ来航空機旅客】

スーツケースに隠匿のケタミン約19キログラムを摘発(令和7年9月)

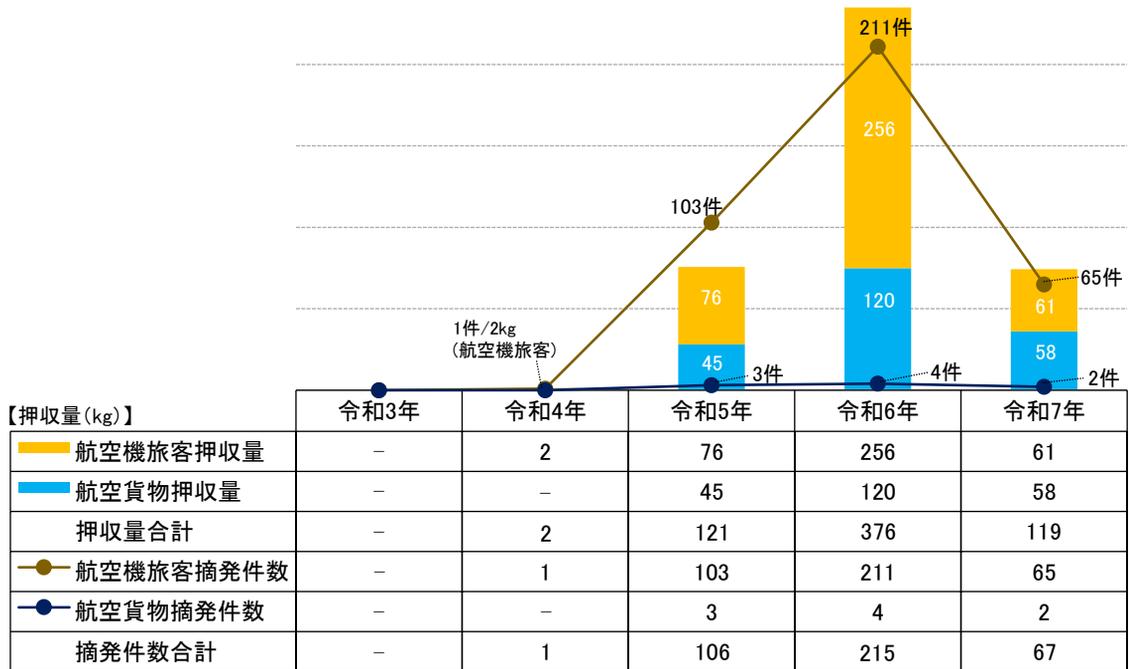


6 金地金等摘発実績



- ✦金地金等密輸入事犯について、令和7年の摘発件数は67件（前年比約69%減）であり、押収量は約119kg（同約68%減）であった。
- ✦密輸形態別では、航空機旅客による密輸が65件（同約69%減）/約61kg（同約76%減）であり、航空貨物による密輸が2件（同50%減）/約58kg（同約51%減）であった。
- ✦仕出地域はすべてアジアであり、香港仕出しの40件/約92kgが摘発件数・押収量ともに最も高い割合を占めた。

●形態別摘発実績（令和3年から令和7年）



●仕出国・地域別摘発実績（令和7年）

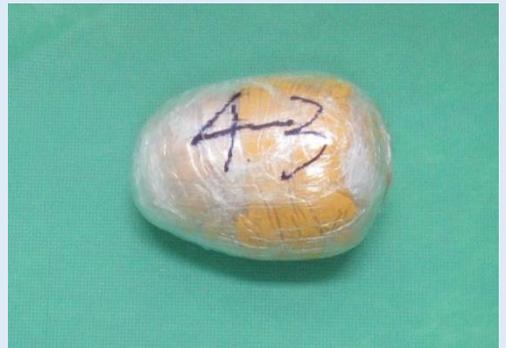
国・地域	件数	割合(件数)	押収量(kg)	割合(押収量)
香港	40	60%	92	77%
中国	15	22%	7	6%
韓国	4	6%	4	3%
タイ	2	3%	12	10%
台湾	2	3%	2	2%
ベトナム	1	1%	1	1%
シンガポール	1	1%	1	1%
マカオ	1	1%	0	0%
カタール	1	1%	0	0%
合計	67	100%	119	100%

- 本項において、令和7年の数値は速報値である。
- 押収量については端数処理をしているため、合計値が合わないことがある。
- 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を指し、「-」とはまったくない場合を指す。

【金地金等密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例15【香港来航空機旅客】

体内に隠匿の粉状の金約2キログラムを摘発(令和7年11月)



事例16【香港来航空機旅客】

箱の底部に隠匿の金約3キログラムを摘発(令和7年5月)



【金地金等密輸入事犯の摘発事例(令和7年)】

事例17【ベトナム来航空機旅客】
身辺に隠匿の金約1キログラムを摘発(令和7年2月)



事例18【中国来航空機旅客】
身辺に隠匿の金約1キログラムを摘発(令和7年9月)

